

市内経営動向調査

平成23年4月～6月期（第1四半期）

- ① 調査の時期 平成23年7月 ② 調査の期間 平成23年4月～6月
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 180社（回答率64.3%）
⑤ 調査内容 前年同期（H22.4～6月）に比べ今期（H23.4～6月）の経営状況について調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

【総括】

○全業種

東日本大震災後の調査となった。佐世保市内の景況、業界の景況とも総じて上向き傾向。前年同期比売上げ動向および採算動向については悪化傾向にあった。
長期で見ると総じて上向き傾向がうかがえる。震災の影響が和らぎ回復基調への期待感の表れと思われるが、食の安全性が指摘されるなどの新たな脅威も生じており、引き続き経営環境を注視していく必要がある。

○佐世保の景況感

卸・小売業を除き、DIのマイナス幅が縮小した。
長期で見ると製造業においては横ばい傾向にあるものの、その他の業種では上向き傾向にあり、業界の景気回復への期待感がうかがえる。

○業界の景況感

卸・小売業を除いて、DIのマイナス幅が縮小し改善した。
長期で見ると、製造業において下ぶれの懸念があるものの、上向き傾向にある。

○前年同期比の売上げ動向

すべての業種において、DIのマイナス幅が拡大した。
長期で見ると、全業種では上向き傾向にあるもの、建設業と卸・小売業は下向き傾向にある。

○前年同期比の採算動向

サービス業を除く業種において、DIのマイナス幅が拡大した。
長期で見ると、上向きあるいは横ばい傾向にあり、今後の動向を見守る必要がある。

【概 況】

(全業種) ※ () 内は前回調査値

①市内の景況感について

「大変良い」0% (0)、「良い」1.7% (1.1)、「普通」24.0% (20.8)、「悪い」64.8% (69.1)、「大変悪い」9.5% (9.0)となり、DIは▲72.6 (▲77.0)、前回調査から4.4ポイント改善した。業種別では、卸・小売業のDIはマイナスに作用したものの、建設業・製造業・サービス業のDIはプラスに作用した。

②市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0)、「良い」2.3% (1.1)、「普通」31.8% (28.7)、「悪い」55.7% (58.4)、「大変悪い」10.2% (11.8)となり、DIは▲63.6 (▲69.1)と5.5ポイント改善した。業種別では、卸・小売業のDIはマイナスに作用したものの、建設業・製造業・サービス業のDIはプラスに作用した。

③前年同期(平成22年4月～6月)比の売上動向について

「増加」3.9% (3.4)、「やや増加」9.5% (16.3)、「変わらない」35.0% (30.3)、「やや減少」33.3% (29.2)、「減少」18.3% (20.8)となり、DIは▲38.2 (▲30.3)と前回に引き続き7.9ポイント悪化した。すべての業種において、DIはマイナスに作用した。

④前年同期(平成22年4月～6月)比の採算動向について

「好転」2.2% (2.3)、「やや好転」9.0% (12.7)、「変わらない」40.8% (37.6)、「やや悪化」34.6% (32.4)、「悪化」13.4% (15.0)となり、DIは▲36.8 (▲32.4)と、前回に引き続き4.4ポイント悪化した。業種別ではサービス業のDIがプラスに作用したものの、建設業・製造業・卸・小売業のDIはマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

(建設業) 回答：78社中50社、回答率64.1%

- 市内の景況感については、「大変良い」0% (0)、「良い」2.0% (0)、「普通」26.0% (27.1)、「悪い」60.0% (60.4)、「大変悪い」12.0% (12.5) となり、DIは▲70.0 (▲72.9)、前回に引き続き2.9ポイント改善した。
- 市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0)、「良い」2.0% (0)、「普通」28.6% (27.1)、「悪い」49.0% (52.1)、「大変悪い」20.4% (20.8) となり、DIは▲67.4 (▲72.9)、前回から5.5ポイント改善した。
- 前年同期比の売り上げは、「増加」2.0% (4.2)、「やや増加」8.0% (4.2)、「変わらない」38.0% (47.9)、「やや減少」28.0% (12.5)、「減少」24.0% (31.2) となり、DIは▲42.0 (▲35.3)、前回から6.7ポイント悪化した。
- 前年同期比の採算動向は「好転」0% (4.3)、「やや好転」10.0% (6.4)、「変わらない」34.0% (40.4)、「やや悪化」34.0% (23.4)、「悪化」22.0% (25.5) となり、DIは▲46.0 (▲38.2)、前回から7.8ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、土木建築業を中心に公共事業、民間工事の受注が増加したとの声が挙げられたほか、営業努力との回答が寄せられた。

悪化要因では、管工事、土木、電気工事など幅広い業種から公共工事が減少したとの声が挙げられたほか、補正予算の遅れを懸念する声があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、公共工事の受注増加、設備投資の効果があらわれたとの声があった。

悪化要因では、受注の減少による競争の激化、資材等の高騰のほか、震災によって工事発注が遅れているとの声があった。

○経営上の問題

受注減少と資金繰りに対する不安、人材確保が難しいとの声があったほか、新規拡大による経営の安定化を図りたいとの声が寄せられた。

○東日本大震災への影響について

品不足などの震災の影響が弱まったとの声があった一方で、依然として資材の納期の遅れや高騰などを懸念する声が寄せられた。また、震災地優先で、地元への公共事業の減少を危惧する声があった。

(製造業) 回答：64社中32社、回答率50.0%

- 市内の景況感については、「大変良い」0% (0)、「良い」3.1% (0)、「普通」25.0% (23.7)、「悪い」56.3% (60.5)、「大変悪い」15.6% (15.8) となり、DIは▲68.8 (▲76.3)、前回から7.5ポイント改善した。
- 市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0)、「良い」3.3% (0)、「普通」36.7% (39.5)、「悪い」43.3% (44.7)、「大変悪い」16.7% (15.8) となり、DIは▲56.7 (▲60.5)、前回に引き続き3.8ポイント改善した。
- 前年同期比の売り上げは、「増加」9.4% (5.3)、「やや増加」12.5% (29.0)、「変わらない」40.6% (21.0)、「やや減少」18.8% (23.7)、「減少」18.7% (21.0) となり、DIは▲15.6 (▲10.4)、前回に引き続き5.2ポイント悪化した。
- 前年同期比の採算動向は「好転」6.2% (0)、「やや好転」6.3% (16.7)、「変わらない」46.9% (44.4)、「やや悪化」28.1% (22.2)、「悪化」12.5% (16.7) となり、DIは▲28.1 (▲22.2)、前回から5.9ポイント悪化した。

《主な自由意見》

- 昨年同期の売上動向
好転要因では、県外受注の増加といった販路拡大に関する回答が多く聞かれた。その他、震災による影響との声があった。
悪化要因では、震災や不評被害による社会的なあおりが影響しているとの声があったほか、県外からの同業者参入による過当競争などの声が寄せられた。
- 昨年同期の採算動向
好転要因では、一部に一時的なものとの声があったものの、県外受注の増加、地元の顧客開拓など、営業力強化による成果との声があった。
悪化要因では、受注単価の下落、材料等の値上がりなどの声が多く寄せられた。
- 経営上の問題
売上げ低下による資金難、人材の確保、新規受注の拡大などの声があった。
- 東日本大震災への影響について
材料の入荷難、遅れなどを危惧する声がある一方、徐々に震災の影響は戻りつつあるとの声があった。

(卸・小売業) 回答73社中51社、回答率69.9%

- 市内の景況感については、「大変良い」0% (0)、「良い」0% (2.2)、「普通」22.0% (22.3)、「悪い」74.0% (73.3)、「大変悪い」4.0% (2.2) となり、DIは▲78.0 (▲73.3)、前回に引き続き4.7ポイント悪化した。
- 市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0)、「良い」0% (0)、「普通」30.0% (31.1)、「悪い」66.0% (64.5)、「大変悪い」4.0% (4.4) となり、DIは▲70.0 (▲68.9)、前回に引き続き1.1ポイント悪化した。
- 前年同期比の売り上げは、「増加」1.9% (2.2)、「やや増加」5.9% (17.8)、「変わらない」35.3% (24.4)、「やや減少」41.2% (48.9)、「減少」15.7% (6.7) となり、DIは▲49.1 (▲35.6)、前回に引き続き13.5ポイント悪化した。
- 前年同期比の採算動向は「好転」2.0% (2.3)、「やや好転」2.0% (15.9)、「変わらない」52.0% (38.6)、「やや悪化」32.0% (40.9)、「悪化」12.0% (2.3) となり、DIは▲40.0 (▲25.0)、前回から引き続き15.0ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、販路拡大、官需の伸び、水揚げ増加との声があったほか、営業体制の見直しによる効果があらわれたとの声が寄せられた。

悪化要因では、消費低迷による販売不振を挙げる声が多く寄せられた。そのほか、天候不順による売上減少、震災の影響などの声が挙がった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、販路拡大、売上げ増加、人件費の削減との声があった。

悪化要因では、消費低迷による売上げ減少、客単価の減少などの声があった。

○経営上の問題

資金繰り対策、売上げ不振による業績低迷などの声が挙がった。

○東日本大震災への影響について

商品の入荷遅れや欠品など、仕入に影響が出ているとの声があった。

(サービス業) 回答65社中47社、回答率72.3%

- 市内の景況感については、「大変良い」0% (0)、「良い」2.1% (2.1)、「普通」23.4% (10.6)、「悪い」66.0% (80.9)、「大変悪い」8.5% (6.4) となり、D Iは▲72.4 (▲85.2)、前回に引き続き12.8ポイント改善した。
- 市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0)、「良い」4.3% (4.3)、「普通」34.0% (19.4)、「悪い」59.6% (70.2)、「大変悪い」2.1% (6.4) となり、D Iは▲57.4 (▲72.3)、前回から14.9ポイント改善した。
- 前年同期比の売り上げは、「増加」4.2% (2.1)、「やや増加」12.8% (17.0)、「変わらない」27.7% (25.6)、「やや減少」40.4% (31.9)、「減少」14.9% (23.4) となり、D Iは▲38.3 (▲36.2)、前回に引き続き2.1ポイント悪化した。
- 前年同期比の採算動向は「好転」2.1% (2.2)、「やや好転」17.0% (13.0)、「変わらない」31.9% (28.3)、「やや悪化」42.6% (41.3)、「悪化」6.4% (15.2) となり、D Iは▲29.9 (▲41.3)、前回から11.4ポイント改善した。

《主な自由意見》

- 昨年同期の売上動向
好転要因では、米艦船修理で外国人宿泊者が増加したとの声が寄せられたほか、国内旅行者の増加、社員教育の効果との声があった。
悪化要因では、震災による催事等の縮小、一人あたりの利用回数の減少、西九州自動車道の延伸の影響などの声があった。
- 昨年同期の採算動向
好転要因では、ホテル業を中心に売上げ増加、観光客数の増加、コスト削減を挙げる声があった。
悪化要因では、売上げや客単価の減少を挙げる声が多く寄せられたほか、原油高騰の影響などの声があった。
- 経営上の問題
人材確保や社員教育といった人に関する声が多く寄せられたほか、需要の減少や物価高による経費の増加を懸念する声があった。
- 東日本大震災への影響について
歓送迎会などの催しの減少、外国人旅行者の減少などの声が多く寄せられた。

以上